

# 大矢建設（株）環境行動計画

平成25年10月29日

## 取組方針

大矢建設株式会社は、建設業という事業活動を通じ、環境保全という意義を念頭に全社員の創意と工夫により、地域社会の発展に貢献すると共に当社の経営基盤を確立することを企業理念としています。

当社は、この企業理念の基に社員一人ひとりの環境保全に対する意識の向上を図り、また、地域社会との連携により環境負荷を低減すべく、以下の項目に取組むことにより継続的な環境保全活動を推進します。

- ① 事業活動中での二酸化炭素排出量の削減
- ② 事業活動中での省エネルギーと省資源
- ③ 工事部門、事務部門における廃棄物の削減

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成25年10月1日

大矢建設株式会社

代表取締役 大矢 多美子

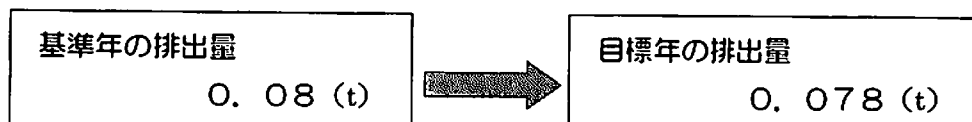
### 3 環境負荷の低減目標

26年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも24年です。)

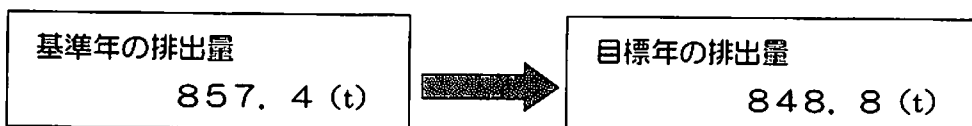
【目標1】 二酸化炭素の総排出量を2%削減する



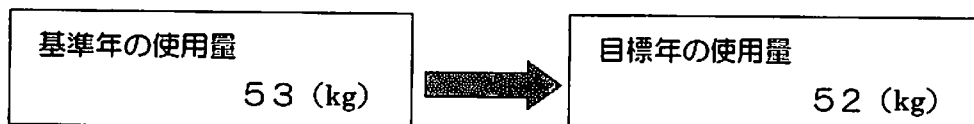
【目標2】 一般廃棄物の排出量を2%削減する



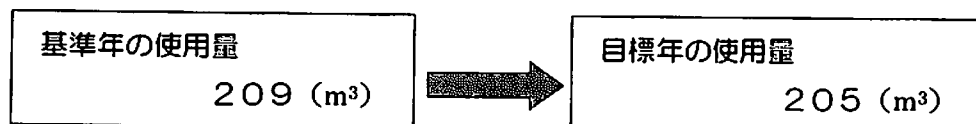
【目標3】 産業廃棄物の排出量を1%削減する



【目標4】 コピー用紙の使用量を2%削減する



【目標5】 水使用量を2%削減する



### 4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(現場・移動での活動)

- ・ エコドライブに取り組む
- ・ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する
- ・ 社用車の効率的な利用を徹底する
- ・ 車両及び建設機械は、未使用時にはエンジン停止に心がける
- ・ ハイブリッド車や低燃費車、低公害車の導入を進める

(事務・営業部門での取組)

- ・ 事務室の空調温度を適正(冷房時28度程度、暖房時20度程度)に設定する
- ・ 昼休み中の消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ クールビズ、ウォームビズの積極的活用
- ・ 電球型蛍光灯などを導入し、照明器具の省エネ化を進める

## 【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

### （一般廃棄物）

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 詰め替え可能な製品を優先的に選んで購入する
- ・ 再利用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

### （産業廃棄物）

- ・ 現場での廃棄物発生抑制に取り組む
- ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- ・ ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない

## 【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

## 【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 洗車用のホースに手元コックを取り付ける
- ・ 可能な限り雨水の利用をする

## 5 環境行動計画の実施体制

環境保全活動推進責任者を中心に、半年ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。